



納豆工場見学と角間川で鍋づくり

日時 :2016.02.06

事業実施概要

日時

2016.02.06 (Sat)

参加者の氏名 (国籍・性別)

- ・ Alan Roberto Tami (ベネズエラ・男性)
- ・ Stella Gordon (イギリス・女性)

スケジュール

08:30 国際教養大学を出発
10:00 納豆工場を見学 (サン工業株式会社)
11:15 角間川公民館に到着
-角間川で鍋づくり-
13:15 地域の方々と一緒に昼食
14:30 角間川公民館を出発
16:00 国際教養大学に到着

アンケート項目

以下のコンテンツについて、感想を選択またはご記入下さい。

1. 納豆工場見学
2. 角間川で鍋づくり
3. 地域住民とのコミュニケーション

4. あなたが自国の旅行会社の社員だとしたら、このコンテンツをいくらで販売しますか？

5. ツアー全体を通しての感想、そして地域住民へのメッセージをお書き下さい。

1. 納豆工場見学

評価：3

工場が非常に小さかったためか、見学できた部分はそれほど多くありませんでした。実際に納豆を作る過程はとても興味深く、勉強になりました。ただ、もっと歴史的な背景や納豆作りに関する技術的なお話があっても良かったかなと思いました。「使う豆が違う」と説明してくれたところまではすごく良かったのですが、もっとその豆について深掘りして説明して欲しかったです。その部分が興味深いので。また、納豆を試食できる機会を作って、見学者が豆ごとの味の違いを楽しめるようにしたり、新商品を先取って少し食べたりできるといった機会があっても良いかもしれません。

評価：4

納豆作りの大まかな行程を実際に見て知ることができ、とても興味深かったです。パッケージングされる前の豆はどうなっているかといった、もっと詳細な行程を見ることができればもっと良いと思います。ヨーロッパで使うようなソースや調味料などをかけて食べるなど、「新しい納豆の楽しみ方」を提案していけば、納豆が苦手な人はもちろん、裾野自体も広がっていくのではないかと思います。

1. 納豆工場見学



2. 角間川で鍋づくり

評価：4

鍋作りはとても楽しくて、作り方を見ているのも楽しかったです。
いろんな形のだまこを作ったり、地域の方々と話をしながら料理をするのはとても良いアイデアだと思います。ただ、だまこよりも鍋（味付け）の作り方を説明してくれた方がより興味深いかもしれません。実際に手を動かす体験だったので楽しかったです。

評価：5

地域の方々と話しながら行う作業だったので、良かったです。作り方を見るのも興味深かったです。

2. 角間川で鍋づくり



3. 地域住民との交流

評価：4

日本語を学び、そして日本語を話す練習にもなり、とても良かったです。
3人の女性がいらっしゃいましたが、恥ずかしくてその中の一人の方としか話せませんでした。

評価：5

やはり英語で会話するための情報が不足しています。
英語での情報をまとめたパンフレットを用意することと、代表の方が言っていることを説明する翻訳者が
必要だと思います。

4. あなたが自国の旅行会社の社員だとしたら、このコンテンツをいくらで販売しますか？

選択肢

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. Less than 1,000 JPY | (1,000円以下) |
| 2. 1,000 - 2,000 JPY | (1,000～2,000円) |
| 3. 2,000 - 3,000 JPY | (2,000～3,000円) |
| 4. More than 3,000 JPY | (3,000円以上) |

回答

3. 2,000 - 3,000 JPY

2. 1,000 - 2,000 JPY

5. ツアー全体を通しての感想、そして地域住民へのメッセージをお書き下さい。

秋田に住む人々や角間川という地域に触れ、とても新鮮な発見があった一日でした。いわゆる普通のツアーでは体験できないような伝統的な日本文化を味わえるプログラムで、きっと様々な体験を通して日本の歴史や文化、言語などに触れられるこのようなプログラムは多くの方が興味を持つと思います。

全体を通して楽しく、実際に自らが手を動かして体験できるもので良かったと思います。田舎料理を知り、そしてそれを一緒に作ることができ、とても良い機会でした。